

叙勲

叙勲を受けられた方を紹介します。

高齢者叙勲

瑞宝双光章

元勝山町立富原小学校校長
藤原 保さん(神代)



昭和19年新庄国民学校助教を命ぜられて以来、昭和60年の富原小学校退職まで教育一筋に歩まれました。不断的努力を怠らず、信頼される教員を目指しながら、地域の教育力の向上に尽力されました。

故人に叙位・叙勲

- 旭日単光章
実村 清さん(上河内) 82歳
元落合町議(平成26年6月25日逝去)
- 旭日単光章
中川芳三さん(栗原) 81歳
元落合町議(平成26年8月2日逝去)

研鑽に荣誉

市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただいています。情報をお寄せください。(敬称略)

■第48回全日本少年剣道錬成大会
7/29~30 東京都

■同大会予選会 6/7

美作市 有隣館道場高学年団体



■平成26年度全国高等学校総合体育大会(陸上競技) 7/30 山梨県

■同大会予選 6/20~22
広島県 5位 美作高等学校
金定鷹正(月田)



■平成26年度全国高等学校総合体育大会(バレーボール) 8/7~11 東京都

■同大会予選 5/31~6/15 倉敷市ほか 1位
就実高等学校 近藤唯奈(久世)

■2014全日本ジュニア・ユース綱引き選手権大会
8/10 東京都

■2014OHK第22回岡山県ジュニア綱引大会
2/9 真庭市 1位
◀スポレクせJr綱引部



■2014JCYインターシティカップ(U-15) WEST 8/14~17 大阪府

■同大会 中国地区予選 5/5~7/22
広島県ほか 4位 アヴァンサルFC
山上真輝(久世)▶



■平成26年度全国中学校体育大会 第44回全国中学校剣道大会
8/17~19 高知県

■同大会予選会 7/23~24 美作市
2位 森木大生(久世)▶



■平成26年度全国高等学校総合体育大会(水泳競技) 8/17~20 千葉県

■同大会予選会 7/25~27 島根県
3位 神谷 佑(三崎)▶



■第44回全日本中学校バレーボール選手権大会 8/22~25 高知県

■同大会予選会
8/4~6 岡山市
1位 就実中学校
◀橘川美月(上河内)



■平成26年度全国中学校体育大会 第44回全国中学校相撲選手権大会
8/23~24 徳島県

■同大会県予選 7/24~7/25

真庭市 1位 久世中学校相撲部▶



■第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技会 8/26~8/30 東京都

■標準記録突破により出場 5/24~6/29 倉敷市など
写真左から:谷口葉奈(落合垂水)、市有優美(台金屋)



■平成26年度道路愛護に対する感謝状
国土交通大臣表彰 8/27

有隣同友交通安全会
会長 湯浅和男(下河内)▶



■第61回日本伝統工芸展 9/17~29 東京都

■第27回全国健康福祉祭(ねんりんピック)とちぎ大会(ゲートボール)
10/4~6 栃木県 写真左から

松本美義(上河内)、菱川紀久枝(吉)



■第27回全国健康福祉祭(ねんりんピック)とちぎ大会(剣道) 10/4~7 栃木県

宮本謙治(下河内)▶



■第69回全国国民体育大会(バレーボール) 10/18~10/21 長崎県

■同大会予選 8/23~24 島根県 1位

写真左から
就実高等学校
田中来菜実(久世)、
築澤咲音(下河内)



町並み舞台に映像アート 勝山映像フェスティバル

勝山映像フェスティバルが8月17〜24日、勝山町並み保存地区を中心に開かれました。プロジェクトにマッピングでは、白壁や道路などにアニメーションを投影。映像が次々に映し出されると、訪れた人から歓声や拍手が起きました。期間中には、映像作家の作品上映や原画展示といった企画展のほか、風で絵が回転して残像を写すソーマトロップが軒先に吊るされるなどし、観光客らを楽しませました。



壁一面に広がった
アニメーション



写真右：のれんと共に風にそよぐソーマトロップ
写真左：道路に映し出される映像を追いかける子どもら



まにわ 真庭

まちの話題

8/23 ずらりと並んだ力作に見入る

8月23日、24日に、勝山文化センターで第4回まにわ工芸展が行われました。会場には陶芸や木工など約500点が出品されました。今年は、花びらを使った押し花アートや駒絵付けの体験教室も行われました。



9/5 売れる商品を作るには

商品力向上セミナーが、市役所本庁舎で開かれました。株式会社三好野の若林代表取締役社長と安東常務執行役員による、売れる商品づくりについての講演に、参加者は真剣に耳を傾けていました。



本格的なイタリアンを堪能する参加者

9/15 いつまでもお元気で

9月6日の久世地域を皮切りに、各地区で敬老会が開催されました。15日には勝山地区敬老会が、勝山文化センターで開かれ、約600人が参加し、安来節や銭太鼓などのアトラクションを楽しみました。



新たな施設活用モデルに 「1日レストラン」で21年間を回帰

「高仙の里よの」が開設21周年を迎えました。余野農村型リゾート推進協議会は施設のより有効な活用を、地域おこし協力隊の協力を得て、1日レストランを企画。9月7日、レストランに変身した宿泊棟で、参加した余野地区の皆さんは、大阪から招いたシェフの本格的なイタリアン料理を堪能するとともに、21年間を振り返っていました。今後も持続できる新たな取り組みに、活路を見出すことができました。